



鹿児島県立薩摩中央高等学校 高等学校DX加速化推進事業

DATE:

令和8年 2 月 6 日

Topic:

DX加速化推進事業に係る研究授業実施

本校が進めている「**DX** 加速化推進事業」の一環として、**2 月 6 日【金】**に、農業工学科 **1** 年生を対象とした **LHR** の研究授業を実施いたしました。今回の授業では、教室の電子黒板と生徒一人ひとりのタブレットを連動させ、オンラインホワイトボードアプリ「**FigJam**」を活用した新しい学びのスタイルに挑戦しました。

授業が始まると、生徒たちは自分のタブレットから次々と意見をデジタル付箋として画面上に投稿していきます。一人ひとりの思考がリアルタイムで電子黒板に集約され、クラス全体のアイデアが可視化されていく様子は、まさに **DX**（デジタルトランスフォーメーション）が生み出す新しい教室の光景でした。このツールの利点は、発言が苦手な生徒も気軽に意見をアウトプットできる点にあります。さらに、画面上に集まった膨大なアイデアを電子黒板上で整理・分類するプロセスを通じて、論理的な思考力や合意形成の進め方を視覚的に学ぶことができました。

農業工学科の生徒にとって、情報をデジタルで共有し、チームで課題を解決する力は、将来の工業現場や農業分野においても欠かせないスキルです。**1** 年生という早い段階からこうした最新の **ICT** 環境に触れることで、専門的な学習への意欲もさらに高まったと感じています。

※ 本取組は「高等学校DX加速化推進事業」の一環で実施したものです。

